

■テーブルトークRPG

～いろんなシステムがあるよ編～

みなもでは、週に1回、5階を貸し切って、1～3時間ほど「テーブルトークRPG」（以下TRPG）というゲームを行っています。参加者はスタッフボランティアを含めて2～8人ほど、ひとつのテーブルを囲んでお菓子を食べながらプレイします。



TRPGとは、対人型ボードゲームの一種。紙と鉛筆とサイコロと市販のルールブックを使用し、想像力とおしゃべりによって「参加した全員で物語を作る」即興演劇のようなゲームです。ゲームマスター（GM）が物語のおおまかな筋書きを決めて展開させ、プレイヤー（PL）は、自分が作ったキャラクターになりきってゲームに参加します。

TRPGの詳しい説明は、2012年発行の第10号でご紹介させて頂きました。（みなもHPにPDFがありますので、ご興味がある方はぜひご覧ください）

今回は、みなもでよく遊ばれているゲームシステムを詳しくご紹介させて頂こうと思います。

・システムとは？

「TRPG」という遊びは、いろんな「システム」があります。トランプでババ抜きやポーカーや七ならべといったいろんな遊び方ができるように、TRPGでも『アリアンロッド』『ソードワールド』『迷宮キングダム』など、いろんな遊び方（システム）があるのです。

いろんな会社から遊び方を書いたルールブックが発売されています。近頃は、一般のTRPGユーザーが、オリジナルルールを自作してネット上に公開していたりもします。

システムは、「会話を中心に進めてゆく」こと、「ルールブックとキャラクターシートと筆記用具があればできる」ことのみが共通で、世界観や細かいルールは「異世界で冒険する」「現代日本で動物達と仲良くなる」などそれぞれ特色があります。時々、ダイス（サイコロ）すら使わないものや、逆に「○○もいるの！？準備物多いな！」というものもあって、バリエーションの多さにびっくりします。

以下は、みなもで遊ばれているシステムです。

・アルシャードガイアRPG

井上純武+菊池たけし/F.E.A.R.（ファースト・アミューズメント・リサーチ）著、エンターブレイン出版、2006年8月発売。基本ルールブックが文庫サイズのためお財布にもやさしい。

みなもで本格的にTRPGをはじめた最初のシス

テムです。利用者が「やりたい」と持ってきてくれたのがきっかけ。

現代日本を舞台に、魔法とか科学の力を駆使して、世界や自分の日常を守るための戦士になって戦います。学生だったりサラリーマンだったりする一般人が奇跡の力を手に入れて巨大な敵と戦うあたりは、戦隊ヒーローや魔法少女アニメのイメージが近いかもしれません。

能力バトルのファンタジー要素が強いですが、現代日本が舞台のため、キャラクターの服装や生活習慣などをイメージしやすく、世界に入りやすいことが特徴です。

キャラクターがそれぞれ取得している必殺技がとても強力で、使いどころに頭を悩ませるのが楽しいです。

シナリオ作りがちょっと難しいこともあり最近では遊んでいませんが、またプレイしたいです。筆者が。



・アリアンロッドRPG

菊池たけし／F.E.A.R.著、富士見書房出版、2004年5月発売。基本ルールブックが嬉しい文庫サイズ！

前述のアルシャードガイアと同じチームが作成した別のシステムもあるんだよ～と、ボランティアさ

んだっただけかな？が持ってきてくれたのがきっかけでした。シナリオが作成しやすいこともあり、今では、みなもでいちばん遊ばれているTRPGです。

剣と魔法の異世界で「冒険者」になって、魔物を倒したり一攫千金を夢見てお宝さがししたりする冒険もの。

世界観は「ドラゴンクエスト」のような和製テレビゲームのノリ。中世ヨーロッパ「っぽい」というところがミソで、中世ヨーロッパなのに建物にはエレベーターがあつたりします。TVゲーム中心に遊んできた子は細かく考えずに楽しめるし、世界史大好きな子は好きな年代・地域の階級制度や職業を忠実に描写して楽しむことも可能。

結婚相手を探して旅に出たり、記憶喪失になって仲間拾われてみたり、お仕えする主に付き従って魔物退治して武功を立てたり……キャラクターの来歴や目的も自由度高く設定できます。キャラクターの設定に合わせて、キャラクター同士の相関図も「冒険仲間」「友達」「恋人」「ライバル」などさまざまな関係性を楽しめます。「親の仇」「主人とメイド」など現代日本が舞台だと難しい関係性も設定しやすく面白いです。

ダイスもいっぱい振ります。6面ダイスを20個くらい振ります。じゃらじゃら振って出目を計算するのがとても楽しい。

ノリが軽くてルールが簡易なため初心者向き、ファンタジーが好きな子にオススメです。

・クトゥルフ神話TRPG

サンディ・ピーターセン&リン ウィリス著、中山てい子訳、KADOKAWA /エンターブレイン出版、2004年9月発売。基本ルールブックがB5サイズ強、物理的にもお財布的にもとても重いですが読み応えは抜群です。ルールブックを読むだけで満

足するレベル。

1900年代アメリカのホラー小説が元ネタのため、基本的に、プレイヤーは無力な一般人。宇宙から襲来したおおいなる「神」に翻弄され、必死に逃げ惑うことしかできません。キャラクターのロスト（死亡）確率も高めです。

……と書くと何が楽しいのかよくわかりませんが、お化け屋敷を楽しむように、「怖がる」ことそのものがとても面白いですし、キャラクターが心身共に無事で生還クリアしたときの達成感は他のゲームでは味わえません。たかがゲームのキャラクター、されど自分の時間と熱意をこめて作成したキャラクターがロストしたら悲しいので、みんな全力で生き残ろうと頑張ります。キャラクターが取得できる技能が「水泳」「登攀」「調理」など妙にリアルなものもまた面白いです。

基本となる舞台設定は1920年代アメリカですが、追加ルールブックを追加使用することで現代日本を舞台にして遊ぶことも可能。自分がよく知っている現代日本でホラー展開に巻き込まれるというのも、より一層こわいですね。

動画サイトなどでもおなじみで、とてもよく知られているTRPGシステムなのですが、ルールブックが高額なこと、「ホラーで死亡率高いゲームはなあ…」とTRPG担当スタッフが渋っていたこともあり、みなもでは遊ばれていませんでした。ひとりの利用者が高い熱意をもってルールブックを購入し、煩雑なルールを把握し、GMを引き受けてくれたことにより、みなもでも遊ぶようになりました。

一緒に遊ぶ子どもの年齢やホラー耐性に気を遣い、ゲーム前には「これだけはダメ！出してほしくない！っていう怖いものはある？」「貞子系とかジェイソン系とか、どういう怖さが好き？」などの細やかな聞き取りを行い、プレイ後も「怖すぎて眠れないとか実害出てない？」「それは大丈夫だけど、

このシーンは気持ち悪くてイヤだった…」「具体的にどの描写が？」などのディスカッションも欠かしません。付き合い方が難しいシステムですが、手探りしつつ、楽しく遊んでいます。

他にも、ルールブックをざっと読んで、キャラクターを作ってみたところで「ルール難しすぎて把握できない……」と挫折したシステムや（『ソードワールド』『ダブルクロス』など）、「いつかやるから！！絶対やるから！！」と誓って購入して、TRPG専用本棚に並べてあるルールブックも色々あつたりします。それらもいつか再挑戦してみたい。

（南郷）

■塾講師の仲間たち

2017年でみなも塾も5年目になります。皆様のおかげで、みなもは居場所のみならず、不登校の子ども達の学習機会保障の場所として、そして学習塾としてここまで成長することができました。

さて、学習に参加してくれる子どもが増えれば、それだけ新しい講師の方も増えます。今回は、みなもの学習部門・塾の成長にあたってとてもお世話になった2人の講師さんのご協力により、自己紹介とか自分の担当している科目について色々お話ししてもらえることになりました。ではでは、どうぞ～↓

1人目 教育の世界に飛び込んで…

2015年より、みなも塾で講師をしております服部と申します。元々ITエンジニアをしていましたが、人を教える仕事をしたいという想いが強くなり、教育の世界に飛び込みました。

教科は主に算数・数学を担当していますが、英語

と地理もやっています。授業では、主に3つのことを心がけています。1つ目は、子どもたちの話に耳を傾けること。2つ目は、子どもたちに授業内容に対する興味・関心や親近感を持ってもらうこと。3つ目は、基礎を大切にすることです。授業の中でこうしたことを積み重ねることで、子どもたちの勉強に対する苦手意識を減らし、勉強に対して自信が持てるように導いていきたいと常に考えています。また、子どもたち授業を楽しんでもらうことも大事にしています(ネタが不発に終わることも多々ありますが…)。

私が教えている子どもたちには受験を控えている子が多く、まさにラストスパートに入っています。また、私自身、今度の4月より大阪府内の高校に就職する予定でして、みなもでの日々も残り少なくなりました。文字通り、最後まで精いっぱい頑張っていきますので、何卒よろしく願いいたします。

(服部)

2 人目 国語の勉強の意義…

私は大学3年の夏からみなものボランティアスタッフの一員に加わりました。通常授業だけではなく季節講習なども含めると皆さんとは、国語の授業で一度は顔を合わせたことがあると思います。

定期試験対策や入試対策が主でしたから、問題を解く皆さんの「なんで国語なんて必要なんだろう？」という顔をよく見てきました。確かに、問題に出てくる説明文や小説と同じものを今後二度も三度と読むことはないでしょうし、古文漢文に至っては実生活で役に立つ瞬間というのはほとんどありません。私もずっと感じていた疑問ですが、この場を借りて1つ、私の考えとして答えをお伝えしたいと思います。

大気から水の滴が落ちてくることを「雨」と言い

ます。皆さんも空から水が降ってきたら「雨」が降ってきたと思うはずですが。しかしそれが旧暦の5月頃の今でいうと梅雨の時期に降ると「五月雨(さみだれ)」と呼びますし、空は晴れて太陽が出ているのに降っていると「狐の嫁入り」と呼びます。桜が咲く頃に降る雨は、桜が散ってしまうので好まれないかも知れませんが「桜雨」なんて綺麗な呼び方もあります。それがどうした、と思いますか?でも「五月雨」「狐の嫁入り」「桜雨」という言葉を今ここで知ったのなら、次に雨が降った時には(ああ狐の嫁入りだ)と認識できるかも知れません。

言葉は物事を認識する力を持っています。そしてもう1つ、同じぐらい大切な力に思考する力を持っています。何かを考える時は必ず頭の中でも言葉を使いますが、見たり聞いたりしたことの無い知らない言葉は使えません。知ってる言葉の数が少ないということは、思考するための道具が少ないということになります。何でも「ヤバイ」「ウザイ」でしか表現できない人は、行動も単純になってしまいます。思考が単純だからです。

たくさんの言葉を知って世界を細やかに認識し、自分の思考を複雑にしてそしてそれを自分の言葉で伝える。そんな力をつけるために国語は必要なのだと思います。

(はたの)



■冬講、そしてクリスマス (個別指導塾みなもより)

冬休み講習って大部分が「フリースクール部門」がお休みしている時に開催しています。フリースクール部門はだいたい12月22日にお泊まり会をして1年の活動をめるのですが、塾は28日まで開校します。つまり、クリスマスの時は塾だけしかやっていない…。ということで、塾のイベントとしてクリスマス会を開催しちゃいました！

クリスマス会の内容は、希望の子ども達で料理をして、チキンやケーキを買ってきて、みんなでわいわい言いながら食べるといういたってシンプルなもの。しかし！作ってくれた料理は美味しいと大評判！ケーキは超豪華4種類！



見てくださいよこのケーキ！とても豪華でしょ？みなさん、写真を撮っておりました。

そしてそして！右側の写真が子どもたちで作ってくれたお料理、チキンのトマト煮。ハーブを入れて風味をつけるこだわりっぷりです。スゴイ…！と感心するばかりの一品でした。参加してくれたみんなでおしゃべりしながらおいしくいただきました。こうやってみんなでワイワイ騒いで勉強の疲れを吹

っ飛ばすひとときも大事ですね。

冬休み講習の方も、今期は受験生が多く、志望校に向けた過去問演習や具体的な進路の絞り込みなどまさに直前期の雰囲気といったところでした。最後の最後まで合格に向けて一生懸命な生徒たちに応えるため、我々講師陣も全力を尽くして対策や対応を練っていきました。

(稲垣)



➤ 賛助会員・カンパのお願い

当法人は、何らかの事情により学校に通うことのできない不登校の子どもたちでも安心して過ごせる社会の実現のため、日々活動しております。

しかし、本来教育とは公の支援なしにできるものではありません。例えば私立の学校などでも、生徒保護者からの学費の他、私学助成を受けることで成り立っています。ですが私どもフリースクールの場合、公の支援制度がないことから、そうした子どもたちに学校と同程度の教育を用意することが非常に困難となっております。

そうした中、子どもたちの保護者様からの月謝や多くのボランティアの方々に支えられながら運営を続けておりますが、やはり財政的に不安定な状態が続いていることは避けられません。

つきましては、もし当団体の活動やその意義に賛同いただける際には、ぜひとも皆様のご寄付を賜りたく存じます。子どもたちの活動をより充実させるため、何卒皆様のお力をお貸し下さい。

■ご寄付の方法

郵便局に備え付けの「郵便振替 払込取扱票」より、以下の振替口座にお振り込みください。その際、備考欄に以下の必要事項をご記入下さい。

口座記号番号：00960-0-204146

加入者名：フリースクールみなも

備考欄：氏名・ご住所・電話番号・(E-Mail アドレス)・

寄付の種類・口数（賛助会員の場合）をご記入

下さい。

寄付の種類

賛助会費…年度更新により、毎年定期的にご寄付いた

だく会員。一口3,000円で、任意の口数。

寄付金…1回限りの寄付。任意の金額。

➤ ボランティア募集中！

フリースクールみなもではボランティアを募集しています！ 現在、子ども達と一緒に過ごしていただけるボランティアの他、特に理系の数Ⅲ数学が教えられる方また英会話が教えられるボランティアさんが不足しております。興味のある方はメールでフリースクールみなも (fs-minamo@nifty.com)宛てに、もしくはフリースクールみなものファックスにご連絡下さい。

➤ ・「親カフェ」のご案内

フリースクールみなもでは、原則毎月第4土曜に「親カフェ」（不登校の子を持つ親の会）を開いています。「親カフェ」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにも参加していただけます。参加をご希望の方は、お気軽にお問

い合わせ下さい。

【概要】 日時：毎月第4土曜日の14:00～17:00
場所：フリースクールみなも、参加費：500円（茶菓子代として）、アドバイザー：中尾安余さん（みかんさん＝結空間代表）、担当スタッフ：中村有美

『フリースクールみなも通信』第21号

発行日：2017年1月24日（本号6頁）

発行者：特定非営利活動法人フリースクールみなも

（理事長・今川将征）編集担当：松浦 豊

○特定非営利活動法人 フリースクールみなも

（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

会員（利用者）：30名（2017年1月現在）

代表：今川将征（理事長）

スタッフ：常勤4名、非常勤4名、ボランティア数名

編集後記：

今川：とりあえずセンター試験終了。様々な思いを抱えつつ、子ども達と二次試験に臨みます。¶
松浦：調子が悪くて健康によかれと思って栄養ドリンクを飲んでいたのでやめ、食事の野菜の割合をかなり増やしたら以前より確実に健康になりました。¶ 中居：ポケモンサンムーンが終わったと思ったら、モンハンダブルクロスが待っていた。¶ マイヤ：利用者に『人形の家』という戯曲台本を借りて読みました。1879年の作品が今読んでも面白いってすごいですね…!! 舞台もみたい! ¶ いぶき：最近カラオケに行くとCOMPLEXを唄います。きっかけはニコ動のアイマスから。¶
くらら：寒波が襲ってきたり、本格的な寒さ。みなも玄関の花壇の整備には少々頭をひねっています。シクラメンが案外寒さに強いかな。¶ 稲垣：最近サンドウィッチマンのコント漫才を見るのがマイブーム。そろそろDVD返してこなきゃ……。

初オープン日：2004年11月1日

住所：〒530-0044 大阪市北区東天満1-4-3

（地下鉄「南森町」駅から徒歩7分、JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩5分）

電話・FAX：06-6881-0803

対象年齢：6歳～18歳

活動時間：平日の11時～20時

入会説明会：随時（体験入会一ヶ月間無料）